



## かえでゆうびん 3月号

2022年3月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園 かえで保育園  
園長 引地 美津代

柔らかな日差しは「春」を感じられるようになってきました。園庭の木々の小さな芽も少しずつ息吹き、ふっくらしてきました。この1年を振り返るとまた「コロナ対応」に明け暮れた一年でしたが、暦は巡り「春」がやってきています。

コロナ禍の中の生活様式では「マスク着用」で子どもたちの成長にどのような影響が出てくるのか悩みながらも感染症対策では着用せざるを得ず、また何でもかんでも消毒する習慣も手荒れや細菌を自分で処理できる人間本来の力も弱くしていくこの現状に何とか抜け出したいと思いながら過ごした日々でした。

この2年余りで感じたことは乳幼児期の「感じたことを思いっきり表現する！」の気持ちがどうしても「してはいけない」「できない」「我慢する」の気持ちが出てしまい行動も言動もがこじんまりしてしまっていることが危惧されます。「密にならない座り方」「遊び方」を考える中で気づけば一人遊び・小集団での行動等を大人が制限して過ごさせてしまっているのが現状です。

かえで保育園では、このような現状の中で職員間で「子どもたちの育ち」をテーマに考え進めましたが振り返ればつぼみ以下のクラスはお子様の園での生活を映像や写真でしかお伝え出来ず時間がたってしまいました。そこで今回の訪問ウイークではクラスの様子や生活の仕方などを中心にゆっくり時間を取って担任と話すことを重視しました。

「かえでフェスティバル」も全園児で楽しい時間を過ごすことはできなかったのですが、つぼみの1年の育ちはつぼみの部屋にぎゅ〜と詰めた展示となりました。幼児クラスはこの1年の楽しかったことや思ったことをそれぞれが表現してくれた作品に仕上がりました。子どもたちの表現する力は消えてはいないことにうれしく思いました。

この度のようなアクシデントで日々の保育だけではなく、乳児の「訪問ウイーク」2歳児以上の「かえでフェスティバル」を進めていく中で「行事の在り方」も考え直すよい機会となりました。

自分を表現する力を消すことなく、何かを制限する子どもたちの日々の保育にも工夫をしながら、できるだけ職員と保護者の方々がゆったりと話をしている姿やコミュニケーションを多くとる機会（たわいもない会話・笑い声）などの中で子どもが育ち、そのような温かい様子を見て心が穏やかになる時間を過ごしてほしいと感じました。そのような人とのふれあいを大切にしながら「子どもたちの成長を大切に見守る保育」を伝えられるための「行事」を新たに企画していきたいと思えます。

あと1か月でだいち18名は小学校へ巣立っていきます。「エルマーを探しに行く」ことで皆が一つのストーリーに思いを巡らせ、自分なりの夢を語ってくれています。その姿を見てひかり・いぶきが「だいちになったら！！」の憧れをもって過ごしています。異年齢保育の素敵な「他者を思いやる気持ち」も育ってきてくれています。コロナ過で危惧することも多い中、「できない」ではなく「できること」を模索しながら心を育てていきたいと思えます。

1月の年明けより「水漏れ」で保育が止まり「感染症」で休園することになり何かとご心配をおかけしました。おかげさまで改修工事も終わり、園舎の半分は新園舎に生まれ変わりました。設備計画にしていた園庭やテラスに日よけテントも設置し、紫外線対策も準備出来ました。子どもたちの大好きな絵画・体操も過ごす場所や時間を工夫して「表現できる機会」を大切に始めていきます。

どうぞ、皆が「笑顔で一つ大きくなった事」を喜べる時間がたくさんできることを願っています。

2021年もかえで保育園の保育や運営にご理解ご協力ありがとうございました。

これからも「こどもにとって」をキーワードに「共育て」をしていきたいと思えます。

どうぞよろしく願いいたします。

春はまだまだ先に感じるほどの寒い日が続きました。

はじめての試みでしたが、めばえ・ふたばぐみの訪問ウィークにはお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。入園から共に過ごした日々の成長をどのようにお伝えしていくか、短時間でできるだけたくさんの成長をお知らせしたいと企画しました。データ作成では日々の成長を保育者同士で分かち合いながら、クラス全体、そして一人ひとりのお子さまの様子をまとめました。

2月19日のかえでフェスティバルは日程を何度も変更したり、感染症対策を万全に行っても心配する中で行事でしたが、つぼみからだいぐみの全員の方に参加して頂くことができうれしく思っています。だいぐみにとってはかえでで過ごす最終月です。子どもたちにとって一日一日が思い出深い時間となりますよう、しっかりと耳を傾け、健康に過ごせる環境を整えていきたいと思えます。

主幹保育教諭 藤森寿美

先日、甲子園浜海浜公園に出かけた日のことです。

おもしろい形の石がたくさん転がっていました。ひかり組の友だちと重ねて「〇〇くんみたいな石」と呟いたAさんと共に、“ひかりさん探し”が始まりました。

一人ひとりによく似合う石を探します。隣で見っていたBくんが「ぼくも一緒にさがしてもいい？」と仲間入り。ベンチに一つずつ並べ、大きさも形も色も異なるものが16個集まりました。

“よし、これで全部だね” そう思った矢先のこと、「それでこれが〇〇ちゃんね」17個目の石が最後に並びました。少し前にお引越しをした友だちの石も探していたようです。子どもたちにとって仲間はどこにいても、ずっとずっとかえで保育園の仲間であることを知り、じーんと胸が熱くなりました。みんな違ってみんないい、子どもたちの姿を見ていると常々感じるのですが、嬉しそうに並んだ17個の石もそれぞれの個性が際立っていました。

別の日のこと、延長保育の時間にピアノで卒園式の曲を弾いていると、いぶき組のAちゃんとBくんが大きなピアノの椅子に「よいしょっ」と上がり、隣に座ってくれました。

じっと譜面を見つめ耳を澄ませると「あのなあ、Aちゃんこの曲すきやねん。なんかかなしい感じがするけどすきやねんなあ…」ぽつりと呟くと、また耳を傾けていました。

曲調を聴いて感じていたのかは分かりませんが、沢山助けてくれた、お手伝いしてくれただいちゃんさんが旅立っていくことを、いぶきさんやひかりさんも色々なところで感じているのだと思います。

かえで保育園で仲間と一緒に過ごした時は、みんなの心を強く大きくしてくれていると感じます。そして仲間を想うあたたかい気持ちを、これからも大切に持ち続けて欲しいです。

主幹保育教諭 河本彩奈

## ～めばえぐみ～

ねらい：『保育者に見守られながら自分でやってみる』『友だちとの関わりを楽しむ』

うた：『ちゅーりっぷ』『はるがきた』『オヤユビネムレ』

園庭に出る前に、絵本を読んだり、ひとり一人のお名前を読んだり、顔を確認してから1日が始まります。はじめは自分の名前を呼ばれるときよろきよると当たりを見渡していた子どもたちでしたが、今では友だちや先生の名前が呼ばれると指をさして「〇〇ちゃん」「せんせー」と嬉しそうに顔を見てくれます。これからより先生や友だち年上のお兄さんお姉さんとどんなやり取りが増えていくのか楽しみです。

### “やってみる！みてね～”

室内遊びでパズル等のひとり遊びができる場所を作りました。友だちが遊ぶ姿を見て「お～」と拍手をして一緒に喜び「どうぞ」と使っていた玩具を渡すなど子どもたちが自分の気持ちを伝える場所にもなっています。生活の場面でも自分の帽子や上着、靴置きの場所を覚えて自ら取りに行ったり「はい、どうぞ」と友だちのものを探して渡しに行くことも増えてきました。渡された子も「あーと（ありがとう）」とぺこっとお辞儀をするとどちらも自然と笑顔になります。「じゅんばんばん」

うになると同時に、自分が思っていたようにならず、もやもやしていることもあります。そんな時には近くにいる子が頭を撫でたり「おいで～」と手招きをして呼ばれることで、子どもたちの中で切り替えたり楽しみながら順番を待つことを経験していきます。



「かして～」としてほしいことが言葉に出てくるよ

### “みんなで体操”

昨年末から寒い日には体操をして、身体を動かしています。

今までは朝に絵本を見て園庭に出ていましたが、最近では帽子を被る前に体操がしたいと身体を動かして教えてくれるほど体操が大好きで日課になっています。毎週木曜の体操の日には、めばえ組の前で体操が行われます。音楽が聞こえてくると自然と身体が動き踊りはじめる子、動きの順番を確認するようにじっと真剣に見る子と様々で、めばえ組の部屋から見える体操の様子は子どもたちにとっての特等席です。『マスカット』『じゃんけんトレイン』『バナナチップス』の体操が特に気に入りで「もりもり～もりもり～」と掛け声をかけるタイミングもばっちりです。音楽に合わせて振り付けを覚えて、ジャンプや屈伸、片足をあげたりとバランスボードや階段、築山の昇り降りの経験から楽しみながら身体の使い方を覚えているようです。ご家庭でもぜひノリノリなダンスを楽しんでみてください。



“担任の思い” 先月のめばえ・ふたば訪問 week では、お子様の様子や成長をゆっくり話せる場となり、貴重な機会となりました。短い時間ではございましたが、園での様子や担任の思いが伝わっていただくと同時に、早く感染症が終息し、実際に園内での子ども様の様子を見ながらゆっくり話せる時がくることを願っています。いよいよめばえ組で過ごす最後の月となりました。泣きながら登園していた春がはいはいから歩けるようになり、自分で食べられるようになり、話をするようになりと大きな一歩を踏み出しためばえ組での1年となりました。そんな子どもたちももうすぐふたば組のお兄さん・お姉さんですね。昨年末にみんなで植えたチューリップの球根から芽が出てきました。チューリップの花のように一人一人が輝く素敵な1年となるよう見守ってまいります。



## ～ふたばぐみ～

ねらい：「保育者の見守りの中でお友達との関わりを楽しむ」「つぼみ組になることを楽しみに過ごす」

うた：「はるがきた」「どんな色が好き」「グーチョコキパー」 わらべうた：「さよなら」「ぞうきん」

先月は訪問ウィークに参加していただきありがとうございました。園での様子をお伝えするだけでなく、お家での様子を教えていただき更にお子様のことを知るよい機会になりました。

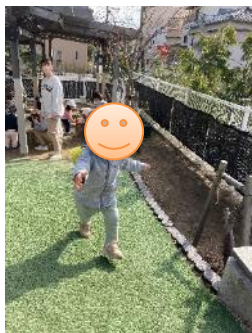
最近ではつたないながらも一生懸命にお話してくれる子どもたちです。「こんなことをしたよ」と楽しかったことを教えてくれたり「〇〇ちゃん痛かったの？」とお友達の気にかけてたりと優しい姿も見られます。「今使ってたの」と自分の思いも上手に言葉で伝えられるようになってきました。

### “早く食べたかった、うめぼしおにぎり”

“おにぎりくんがね”の絵本にはまり、鮭おにぎり・おかかおにぎりを食べた子どもたち。「うめおにぎりも食べたいね。」と待ちに待っていたうめおにぎりを食べました。おにぎりの上にちょこっと乗せた梅干し。「これなに？」と不思議そうに見ている子どももいましたが「うめおにぎりだ」と言うお友達の言葉を聞いてぱくっと食べていました。眉間にしわをよせ、目をつぶってすっぱい顔をする子どもや「おいしー」と笑顔になる子どもなど様々な姿が見られました。

おにぎりの歌を歌ったりままごとでおにぎりを作ってくれたり、子どもたちにとって楽しい経験になっているようです。今回おにぎりに乗せた梅干しは峰農園の梅で作った梅干でした。

大きくて立派な梅、とてもおいしかったですよ。



### “みつけた！！”

寒い日もありますが、毎日外遊びを楽しみに上着を着たり靴を履いたりして元気に園庭へ走り出していきます。ゴミ収集車を見つけると大きな声で呼びかけ、手を振ってもらったり、空を見上げると鳥や飛行機を見つけたりと、たくさんの発見をして忙しそうに遊んでいます。

そんな楽しい園庭、最近ではおいかけっこやかくれんぼを楽しんでいます。かくれんぼでは子どもたちより先に走り木の陰に保育者が隠れます。保育者がどこに隠れたかを探している子どもたちの姿を木の隙間から見ていると、立ち止まって園庭を見渡し保育者を探す姿が見られます。見つけた時には「あ、いた！！」という表情で真剣な顔から笑顔になり、真すぐに走ってきてくれます。その姿が可愛くて探す子どもたちから目が離せません。また一生懸命園庭を見渡し探す子どもや、保育者を探しているお友達についていき楽しむ子どもなど様々な姿が見られて面白いです。「みつけた！」「せんせい、いたね」と子ども同士で楽しそうにする姿も見られました。「からだがポカポカしてきたね」と一緒に体を動かすことを心地よく感じながら遊んでいます。

### “担任の思い”

「もうエプロン無いよ」「〇〇くん/ちゃんもできるよ」とエプロンが無くても汚さずに食べられることや、少し難しいこともできるようになった喜びを伝えてくれます。つぼみ組からおもちゃを借りたり、園庭で一緒に体操をしたりしながら進級することに期待を持てるように過ごしていきたいと思います。また「〇〇した」「僕も/私もしたよ」など子どもたち同士の会話も増えてきました。「いらっしゃいませー」「何にしますか」「ちょっとまってくださいね」とおままごとも賑やかになってきました。言葉のやり取りや遊びを通してお友達との関わりも楽しんでいきたいです。残りのふたばで過ごす時間を大切に、楽しく過ごしていきたいと思います。

福井真裕子 立田瑛怜菜 松岡桃花

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「思いを伝え合い、友達同士の関係を深めていく・幼児への憧れをもつ」

うた：「かえで保育園 園歌」「はるがきたんだ」

つぼみ組として過ごす事も残り1ヶ月となりました。幼児さんの部屋に遊びに行く機会が何度かあり、「もうすぐようじさんなんだ～」「つぎはいぶきぐみになるんだよ」と一つ大きくなる事を楽しみにしている様子です。又、つぼみ組の部屋に置いてある「おおきくなるっていうことは」という絵本も好きでよく読んでいます。生活の中でも自らで進んで朝の準備や帰りの片づけも行えるようになってきました。寒さに負けず晴れている日には裸足で元気いっぱい身体を動かして遊んでいるつぼみ組さんです。

### ～ルールのある遊び～

室内遊びでは1年を通して「ティメモリー」や「ワニのバランスゲーム」「キャンディゲーム」等のルールのある遊びを取り入れてきました。初めは保育者と一緒にルールを確認しながら行っていましたが、理解し始めると子ども同士で楽しむ姿も見られるようになってきました。「○○ちゃん一緒にしようよ」「僕もよして」と子ども同士での会話のやりとりが見え、笑い声が聞こえる時にはとても微笑ましい気持ちになります。この1年を通して友だちと遊ぶ事、言葉で伝え合



う事の楽しさを感じているように思います。勿論、まだ上手く思いが通じず「僕もしたいのに貸してくれない…」と葛藤する場面もありますが、ルールのある遊びを通して順番がある事や待つ事を知る機会にもなりました。



又、外では冬から「だるまさんがころんだ」も楽しんでいます。初めは鬼の役をしたくて、子ども対保育者で楽しんでいましたが、繰り返す内に鬼を順番に交代して行う事、鬼が振り向いたら止まる事、鬼にタッチしたら逃げる等のルールを理解して楽しめるようになってきました。これからも色々な遊びの経験を経て子ども達の遊びの世界が広がってくれたら嬉しいなと思います。

### ～かえでフェスティバルへの思い～

ご参加いただきありがとうございました。今年度は子ども達の遊んでいる様子を見ていただく機会が持てず、子ども達の成長をどのように伝えていくか担任で細かい部分まで思いをのせて環境設定をしました。特に、絵本コーナーでは子どもの興味のあるお話についてゆっくり手に取って見て頂きたい思いもありましたので改めてご紹介させていただきます。1年間を通して様々な絵本に触れてきて特に人気のあった絵本です。”絵本”という物から、子どもの言葉や想像力が引き出されたり、物の認識や遊びに繋がったり、外の世界と比べてみたり、子ども同士の会話のきっかけとなったり…。絵本は子ども達に様々な影響を与えてくれます。是非、図書館や本屋さんで見かけた際には1度手に取ってみてください。又、これから子どもの興味の幅が広がり、長いお話も聞けるようになり、物語を楽しめるようになっていきます。これからもお子さんとのコミュニケーションの1つとして、色々な絵本を手に取り、絵本の中の世界を一緒に楽しんでみてください。



### “担任の思い”

ふと気が付けば、「あれ？一人で最後まで出来るようになってる！」と保育者と一緒に身の回りの事を行っていた事が、子ども自身で行い出来る様になったり、子ども同士の会話のやり取りを聞いていると「こんなに自分の気持ちを伝えられるようになったんだ」といつの間にか私達の手助けが少なくなってきました。成長を感じると共に少し寂しい気持ちにもなりますね。これからもっと出来る幅が増えていきますが、“見守る”事を大切に出来た事への喜びが自信へと繋がり、いぶき組になっても色々な事に挑戦して行ってほしいなと思います。

今井 奈沙 坪金 玲奈 小城 美紗

## ～いぶきぐみ～

ねらい：「自分でできることを知り、自信に繋げる」「ひかり組になることに期待を持つ」

うた：「つくしのぼうや」「がんがん」「ひなまつり」

気温が低くまだまだ寒い日もありますが、暖かい日には、築山で寝転んだり、日向ぼっこをしたり「はやく春が来ないかな」と3月がやってくるのを楽しみにしていました。室内では、かえで保育園での1年を振り返りながら、とうもろこしやかだなど一人一人が様々な形で表現をしたり、歌を歌ったり、表現遊びを楽しむことができました。いぶき組で過ごす心地よさを感じながら、ひかり組への期待を持って残りの1か月を過ごしていきたいと思います。

## ～元気いっぱい～

寒い園庭でも、いぶき組の子どもたちは、身体を思い切り動かして、元気いっぱい遊ぶことを楽しんでいます。「寒いから体操したい」と子どもたちから保育者に伝えており、音楽が聞こえると「体操してるよ！一緒にしよう」と友だちに声を掛けて、子どもたちが大好きな「ジャンボリーミッキー」や「マスカット」などの体操が始まります。以前までは、保育者の動きを真似しながら体操を楽しんでいた子どもたちでしたが、今では、誰が先生役をするか子どもたちで話し合って決め、先生役の友だちを真似しながら踊っています。子ども同士で掛け声を掛けながら体操をすることも上手になりました。



また、園庭では大縄跳びをして遊ぶのが人気で、ひかりさんやだいちさんが入り込みやゆうびんやさんをして遊んでいる姿をいぶきさんはよく見ています。そんなある日、「自分たちも大縄やりたい！」と子どもたちで縄を回しながら、順番を守って一人ずつ跳び始めました。順番を待っている間も「〇〇ちゃん、がんばれ」「なわをよく見て」と声を掛け合う姿が沢山見られました。跳べなかった悔しい気持ちや跳ぶことができ嬉しい気持ちも伝わってきました。



身体を動かすことを楽しみ進んで運動しようとするいぶきさんの姿が、とても嬉しく感じると同時に、自然に子ども同士で声を掛け合いながら認め合うことで、クラスの一体感に繋がっているように感じました。

## ～お部屋でピクニック～

子どもたちがいつも楽しみにしているお弁当の日。愛情いっぱいのお弁当を早く食べたい子どもたちは、登園後から嬉しくてそわそわしています。「ハンバーグもってきたよ」「私はからあげだよ」「デザートはなにがはいっているかな？」と友だち同士の会話がとても弾みます。「先生、おなかすいちゃったよ。はやくお弁当食べようよー」といつもよりおなか空くのが早い子どもたち。

外の景色を見ながらお弁当を食べたかったのですが、この日は風が強くとっても寒かったので、お部屋の中で食べることになりました。少しでもピクニック気分を味わえるように、大きなブルーシートを敷き、輪になってみんなで美味しいお弁当を食べました。愛情いっぱいのお弁当、ありがとうございました。



## “担任の思い”

いぶき組での生活も残すところあと僅かとなり、1年の締めくくりとなる3月を迎えました。困っている友だちがいたら、「どうしたの？何があったの？」と声を掛けて、友だちを助けてあげたり、4月には食べることが出来なかった苦手な食べ物にも、少しずつ挑戦し、食べることができるようになったりと、この1年間の子どもたちの成長に驚きと嬉しさを感じながら日々過ごしています。3月は次年度への移行期間にもなりますが、子どもたちにはわくわくとした気持ちで4月を迎えて欲しいと思います。

星加 由美子・小寺 涼香・峰 夏音

## ～ひかり～

ねらい：「だいち組になることを、楽しみに感じる」

うた：「ひなまつり」「ふるさと」「おおきくなるってうれしいね」

あっという間に3月がやってきました。振り返ると、初めての大きなお部屋と、たくさんのお兄さんお姉さんと一緒に過ごすことに、ドキドキしていたいぶき組の頃から、少しずつ新しい生活にもなれ、友だちと一緒に遊ぶ事を楽しんだり、やってみたいことにチャレンジすることができたひかり組。そしていよいよ次はだいち組です。だいち組になる日を楽しみに、毎日を過ごしてほしいです。

### “しゅうかくだ！”

大根の収穫と共に、種から育てていたブロッコリーも収穫しました。

ひとりから始まった栽培でしたが、だんだん人数が集まってきて、順番に水やりやお世話を率先して取り組んでくれるようになりました。「朝1番にお水やりしたよ。」「だんだん大きくなってきたんじゃない？」など子ども達同士で様子を共有する姿も見られました。春から育てていたので、長い時間がかかりましたが、やっとの思いで立派なブロッコリーが出来ました。今回収穫できたのは全部で5つ。どうやって分けようか考えていると、自分が食べたい気持ちよりもみんなに



食べてほしいという気持ちが強く感じられました。「たくさんの人にあげようと思うと、自分の食べるぶんは少しになってしまうよ？」と問いかけると「そうだね…。ぼくいつもはたくさん食べたいんだけど、みんなに食べてほしいから小さくてもいいんだ。」と話してくれました。育てた人だけで食べようとするのではなく、子ども自身から他の友達にも食べてほしいと話が出たことに嬉しく感じました。まだ小さな赤ちゃんブロッコリーも育てています。大きく育ててみんなでおいしく食べる事が出来ますように。



### “だいちさんと、いっしょに”

先日、甲子園浜海浜公園に行ってきました。かえで保育園から子どもの足で歩くとなると、なかなかの距離でしたが、だいち組の隣に並んで歩く事が嬉しかったようで、「あれはなに？」「もうすぐ着く？」など楽しく会話しながら歩いていると、あっという間に公園に到着しました。公園に着いてからも、一緒に長い滑り台をしたり、まつぼっくりやきれいな石を拾ったり…。おもしろい遊び方や、危ない場所をひとつひとつだいち組に教えて

もらおうと「すごいなあ、だいちさんって物知りなんだなあ～」と感心していました。

帰り道でも、信号をよく見ること、横断歩道を渡る時には、右と左をよく確認することなど、教えてもらったことを自分もやってみようとする姿が見られました。だいち組と一緒に過ごすことができるのも、あと少し。たくさん遊んで、たくさん関わってほしいです。



“担任の思い” 今年のひかり組は素直に相手の素敵なところを認め合えるところが、とても素敵だなと感じます。クラスごとにそれぞれ雰囲気やカラーがありますが、頑張ったこと、おもしろがっていることを互いに「すごい！」と認め合ったり、自分の考えや思いを素直な気持ちで伝えることのできるやさしい雰囲気が、ひかり組にはあるように思います。これから成長していくなかでも、素直で優しい心を大切に育ててほしいと感じます。また今年も制限されることが多く、子ども達の生活や遊びの中でも難しさを感じることもありました。来年度は子ども達のやってみたいことに、どんどん挑戦することのできる1年になりますように。

林 奈津美

## ～はま・かぜグループ～

### ～おこなわチャレンジ～

今、園庭で大流行している大縄跳び。元々はだいち組の子どもたちが、連続でどれだけ跳べるのかチャレンジしていたことから始まりました。だいち組の友達が何度も挑戦している姿を見て「ほくもいれて」「私もやってみたい」と徐々にいぶき・ひかり組にも広がっていきました。

子どもたちの「なわとびしたい！」の一言から、その日の大縄チャレンジは始まります。大縄を回すと子どもたちが次々にやってきて、築山の方に向かって長蛇の列ができることも…。友達が跳んでいる時は、後ろで順番待ちをしている子どもたちが数を数えてくれます。そして、その日の最高記録は毎日表に書き込んでおり、今までの記録を見られるようにしています。数字の書き方を子どもたち同士で教え合っていたり、自分の記録を見て嬉しそうにしていたりと様々な様子が見られます。中には「〇〇ちゃん、前よりもいっぱい跳んでるやん」と友達の最高記録を更新したことに気付いて声を掛けている姿も見られました。

引っかかってしまっても、「もう一回する！」と何度も繰り返し挑戦する子どもたちのエネルギーに圧倒されています。自分の記録を更新できた喜びを感じるとともに、子どもたち同士で声を掛け合い、お互いの頑張りを認め合える関係性をこれからも築いていってほしいです。



### ～どっこいしょ！～

秋にかぜグループがサツマイモを収穫した後、はまグループの子どもたちが大根の種をまきました。小さかった種から大きく育ち、いよいよ収穫です。

園長先生から大根の抜き方を教えてもらい、準備に取り掛かります。一つの大根から出ている葉っぱを全部集めて、しっかり持って引っ張ります。「よいしょー！」の掛け声とともに細長い大根が顔を出しました。「やったー！ぬけた！」と嬉しそうな表情です。自分の分が抜けたら、次の友達に「こうやって抜くんだよ」「優しく引っ張らないと、葉っぱがちぎれるから気を付けてね」と先生の代わりにレクチャーしてくれていました。

先生から子どもたちに伝えるだけではなく、子ども同士で教え合う姿が多く見られました。また、なかなか抜けない時には「だいこんさん、でてくるのはずかしいのかな？」と大根の気持ちを考えている子もいて、その子の優しい気持ちにほっこりしました。大根の次は何を育てるか、お楽しみに！



### “担任の思い”

新しいクラスになり、大きく環境が変わって緊張していたいぶき組を、ひかり・だいち組が優しく迎え入れてくれた4月から、もうすぐ1年が経とうとしています。ペアでの関りを中心に友達の輪が広がって、ワクワクすることを見つけたり、興味のあることに挑戦する姿が印象的でした。時には気持ちがぶつかることもありましたが、自分の気持ちを伝えることから互いの思いに気付き成長することが出来ました。残り1か月、今のメンバーでの時間を大切に過ごしてほしいです。

小寺 涼香 峰 夏音



## ～だいちぐみ～

ねらい：「周りの人にありがとうの気持ちを持つ」「小学生になることを楽しみに過ごす」

うた：「ありがとうこころをこめて」「だいすきだったしるし」

寒さの厳しい日が続いた 2 月も、園内の工事や感染症のため園庭で長い時間を過ごしました。楽しみにしていた雪あそびは中止になっていましたが、節分の集いや甲子園海浜公園へのお出かけ、大根の収穫など楽しいこともたくさん経験出来ました。だいちフェスティバルでは保護者の方や保育者に見守られながら「エルマーとりゅうは友達」を演奏し、「だいちエルマーとりゅうの冒険」の物語を表現しました。朝から緊張気味で上手できるかなと不安そうな顔をしていた子どもたくさんいましたが、最後までやりきった子ども達のほっとした中に達成感で溢れた表情を見ることができ、素敵な思い出がまた一つ増えたなあと感じました。かえで保育園でだいち組 18 人が揃って過ごせる 1 日 1 日を大切に子ども達と関わっていきたいと思います。

### “小学生になるぞ”

甲子園海浜公園までお出掛けをした日は、だいち組とひかり組が横並びで 2 列になり、行き帰りの道を歩きました。横を歩くひかり組の子に園外へお出かけする先輩として、「次は右に曲がるで」「信号が変わったら右も左も見てから歩くよ」と交通ルールを教えてあげるだいちさん。そんなだいちさんの姿を見ていると、小学校へ行っても自分で安全確認をして交通ルールを守って登下校の道を歩いて向かうことが出来るんだろうなと感じます。公園までの長い道のりに、「まだつかないの」「あしがつかれたよ」とひかりさんが呟くと「公園に着いたら大きなすべり台があって楽しいよ」「ブランコもあるんだよ」とワクワクする気持ちになれるように声を掛けてあげる姿も見られました。



カメのお世話や園庭の水やり、ランチルームの片付けなど 1 年間頑張ってくれたお仕事も、「ひかりさんに教えてあげないとね」と伝えてくれます。卒園した後のことも考えてくれる立派なだいちさんの姿に成長を感じる日々です。

だいちフェスティバルでは、ドキドキしながらも一人ひとりが自分の役になりきって表現しており、そんな姿を見てとても遅しく感じました。保護者の方々の大きな拍手と温かい眼差しが、きっと子ども達を後押ししてくれたのだと思います。就学に向けて行っている連絡ノートも少しずつ習慣になり、丁寧に間違えずに字を書き



進めています。一日、一日と小学校への期待が膨らむと共に、新しい世界へ踏み出す不安もあり、色々な想いが駆け巡っているだいち組です。“もうすぐ小学生だから”という言葉が子どもたちにとって負担になることなく卒園までの日々を楽しくだいち組らしく過ごせるように見守っていきます。そして、だいち組の仲間や先生、いつも近くにいる周りの人への“ありがとう”の気持ちが感じられるように関わっていきたいです。

### “担任の思い”

園生活が残り 1 ヶ月となり、卒園に向けての準備も少しずつ始まってきました。「そつえんしたくな〜い」と寂しさを感じながらも保育園で過ごす時間を大切に思ってくれているようです。だいち組になってからの 1 年を振り返るだけで、たくさんの出来事が鮮明に思い出されます。日常の些細な出来事も友達と喧嘩したことも「あのときはね…」「こんなことがあってね…」といろんな話しを聞かせてくれます。そんな子ども達の姿を見ていると、まだまだ一緒に過ごしたい気持ちが大きくなります。楽しいことも悲しいことも悔しいことも嬉しいこともたくさんの思いに出会ったかえで保育園での経験が、子ども達の自信となり小学校での生活やこれからの人生に繋がっていかれることを願っています。「小学校へ行っても、楽しいことで溢れた毎日が過ごせますように」と思いながら残りの時間を大切に過ごしていきたいと思います。 尾崎 美緒

## ～先生コーナー～

いまだ冷たい風が吹いており、お天気にもかかわらず寒い日がまだまだ続いています。先日、子どもたちが嬉しそうに「雪が降ったよ！」と教えてくれました。すぐに止んでしまったようでしたが、雪が降ったことに大喜びしている子供たちから笑顔をもらって嬉しくなりました。

私の地元は大雪警報がでるほど毎年雪がたくさん降り、雪が積もることで困った経験がたくさんあったので、雪が降ったら「あ～またか・・・」と気持ちが沈むことが多くなっていました。かえって過ごした1年の中で初めて（一瞬でしたが）雪がちらちら降ったことに子どもたちが歓声を上げ、喜んでいる姿がとても印象に残り、雪がまた降ったらいいのにと自分の気持ちの変化がありました。

地元では今年も例年にないほどたくさん雪が降りました。地元に戻ったら、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら雪かきができそうです。

坂口未奈美

## ～だいちのお父さんからメッセージ～

発表会で人前で大きな声を出せたり、同じ年齢にも関わらず、たくさんのお友達と遊べるようになりました。

お家ではお兄さんお姉さんと一緒に何でも挑戦してえらい！小学校に行っても元気に頑張ってください！

9年間どうもありがとうございました。コロナ禍で先生方においては、大変な業務の中、子ども達を健康に育てて頂きまして、本当に感謝しております。私の職場も感染防護服を着て現場に向かう事が多く、緊張状態が続いています。仕事を終えて帰宅し、子どもの元気な姿を見ると、今日も一日保育園のお友達、先生方と楽しい時を過ごしてきたのだなあとほっとします。先生方には、今日も一日「ありがとうございました」という気持ちになります。そして、何よりも今まで、健康に安全に過ごさせて頂きましてありがとうございました。

0歳児クラスから6年間お世話になりました。家で先生の話を楽しそうにする娘、最後の発表会で先生に抱きつきに行っている娘を見て、充実した毎日を送っていたんだと思いました。毎日笑顔で、やさしい娘に育ったのは、かえって保育園のおかげだと思っています。本当にありがとうございました！

いつもニコニコしながら保育園であったことを話してくれます。卒園を控えた最近では先生の指導でしょうか、連絡帳へお世話になった人への感謝の気持ちや周りの人の良いところを書き込んでおり、にこにこの中にも大人っぽい表情が見られるようになりました。

お迎えに行くと怒った顔をしてもうちょっと遊びたかった、明日遅く迎えに来て。保育園でみんなと遊ぶのが大好きみたい。そんな保育園生活もあと1ヶ月。コロナ禍でいろいろ大変だけど、これからもいっぱいみんなとあ遊んでほしいです。

今から5年前、こどもを人の手に預け、自分に似た自由奔放かつ一度言ったら誰の言う事も聞かない一本槍の我が子をかえで保育園の先生方は、いつも熱心に情熱を注ぎ、わが子の個性や感性を生かし、未来の「夢」をカタチに表現してくださり、感謝してもしきれないです！将来は、個性派女優になる事に期待しつつ子どもの未来の可能性を応援したいです。

## 保護者の方からのお話コーナー

イヤイヤ期に突入していますが、保育園でお友達に手を繋いでもらうとご機嫌になりとても嬉しそうです。  
保育園で色々な出来ると体験させていただき日々成長を感じさせてもらっています。

ふたば組 ひろみさん

つい先日、年が明けたと思ったら、もうひと月で進級です。  
下の子が家で園での出来事を話すと上の子も「僕もだいちの時、〇〇した！」と嬉しそうに話しており、去年は兄妹で通園していたことを懐かしく感じます。先生の話や先生ごっこで週末は兄妹で盛り上がっています。

いぶき組 えみさん

歌（+踊り）が大好きな娘は最近、園から帰ってきた後『ふるさと』を熱唱しています。歌詞もちゃんと覚えて身振りも交えて歌う姿に成長を感じます。春からはだいち組。1年後の卒園式でも熱唱してくれることを今から楽しみにしています。

ひかり組 たかしさん

先日「もうすぐだいちさんといぶきさんになるね」と話していると、息子が「だいちさんになったら〇〇ちゃん（妹）と同じ部屋になるやん！」と娘に幼児さんの部屋の説明をしていました。

よく喧嘩もしますが妹の様子が気になる息子。いつまでも2人仲良くいて欲しいなと思いました。

つぼみ・ひかり組 かざきさん

もうすぐ卒園する実感が湧いてきたのか、最近「小学校イヤヤ」とよく言っています。そんなふうに思うくらい大好きな保育園に通えて、幸せな子だなと親としては感じています。残り少ないですが全力で楽しんでほしいです！

いぶき・だいち組 みきこさん

登園の時にぐずることもなくなり、保育園生活を目一杯楽しんでいるようです。お休みの日も物足りないと言っています。「かえで行く！」と言い出します。  
これからも先生やお友だち、たくさんの人と関わって成長して欲しいです。

ふたば組 あきこさん

# ☆お台所より☆

まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春らしさを感じる季節になりました。

今年度もあと1ヶ月です。

小さかった子どもたちが歩けるようになり、少食だった子もたくさんごはんを食べられるようになり、間近で成長していく姿を見ることができてとても嬉しく思います。

かえで保育園の子どもたちはみんなたくさんごはんを食べてくれて、そしてたくさんおかわりをしてくれて、毎日作り甲斐があります。そして、だいちさんにとっては残りわずかな保育園生活です。

「かえで保育園のごはんおいしかったな、また食べたいな」と思い出になるよう、心を込めて作ります。

## ～今月の食育活動の様子～

### ・節分（炒り豆） 2月3日

今年の節分のメニューは「ちらし寿司」「ほうれん草のごま和え」「すまし汁」「みかん」でした。すまし汁には子ども達が大好きなそうめんを入れました。「わたし、このちゅるちゅるすきやねん」と教えてくれる子がいたり、盛り付けたちらし寿司を見て「うわ～めっちゃおいしそう！」と大きな声が厨房にまで聞こえてきたりと、休園後の最初の温かいごはんでもあった為か、とても喜んでいいる様子が伺えてうれしかったです。

まただいちさんに大豆の炒る様子を見てもらい、交代しながら実際に炒ってもらいました。どうなったら出来上がり？と興味津々な様子だったり、大豆クイズをしながら楽しんだり、近い距離で豆を炒る様子を見せてあげることができて良かったです。炒り終わった豆の匂いを嗅ぎ、「においだけでおいしいね」と言っている子もいました。

衛生管理上、園庭で炒った豆は食べられませんが厨房で調理した豆を食べました。



### ・誕生日会 2月16日

1月と2月合同誕生日会をおこないました。いつもとは違って2回分のメニューを楽しんでもらおうと今月はトッピングにチーズをのせたハンバーグを作りました。肉汁たっぷりの美味しいハンバーグが完成しました。そしてお誕生日ケーキには一人一粒のまるまるとした真っ赤ないちごをのせました。

## ～お知らせ～

だいちさんにとってかえで保育園で食べるごはんもあと少しとなりました。そこで、だいちさんにかえで保育園で思い出に残っている美味しかったごはん・おやつをみんなに聞きました。子どもたちが発表してくれたメニューは「肉うどん」、「カレーライス」、「鯖の竜田揚げ」、「ハンバーグ」、「から揚げ」、「誕生日ケーキ」、「きなこバナナ」、「パフェ」、「みたらしだんご」などなどいっぱい出してくれました。これらのメニューは3月の献立に取り入れます。お楽しみに！



- 改修工事完了しました。  
1月初旬より「水漏れ」でご心配をおかけしておりましたが、2月27日をもって終了いたしました。  
ランチルームの改修工事は残しましたが、今年中には行う予定です。
- マスクの管理  
持参いただいているマスクには記名をお願いします。また、汚れた際の替えのマスクも3枚程度ご用意ください  
(園外保育)
- 3月16日は予定通りお別れ遠足(徒歩)に出かけます。お弁当のご用意をお願いします。
- 3月18日は「貸し切りバス」でひかり・だいちが甲山に行きます。  
(1クラスごとにピストン運転します)
- 3月22日より新年度のクラスに移行して過ごします。  
ロッカーの荷物を18日に一度お返しいたします  
22日の朝に着替え等をもってきてください。

### こんなことしたよ♪

#### 【かえでフェスティバル】

2月19日に「かえでフェスティバル」では感染症拡大の為、クラス別に分かれて少人数ずつ、短時間の鑑賞でしたがご協力の下全ご家庭の方にご参加していただきました。

子ども達の成長を見ていただける機会を設けられたことを嬉しく思います。

だいち組の合奏と表現は、少しドキドキしている様子でしたが、最後までやりとげている姿が素敵でした。

めばえ・ふたば訪問 week では、園の様子を写真や作品を見ながら保護者の方とゆっくり話をしながら成長を共に感じる時間となりました。



#### 【感染症の対応】

- 毎回のお願いとなりますが、皆で気を付けて集団感染の内容各人が対策をして過ごしてください。
- 健康管理はご家族の役割として行っていただき、少しでも変化があった場合は病院受診・結果の報告をもっての登園となります。
- **まん延防止が継続されています。育児休暇中・お仕事がお休みのご家庭はお休みいただくか昼までの保育をしていただくようお願い致します。**
- **お子さまの予防接種・受診は登園前ではなく、登園後またはお休みの日をお願いします。**
- 降園時の申し送りは、密を避けるため短時間でいきます。ご了承ください。



#### 3月の予定 (変更する可能性があります)

- \* 2日～7日  
新入園児の面接を行います。
- \* 12日(土) 卒園式  
めばえ～ひかりぐみは家庭保育のご協力をお願いします
- \* 14日(月)  
月例健診
- \* 16日(水)  
お弁当日(全クラス)  
幼児クラスお別れ遠足
- \* 17日(木)  
西宮市より指導監査
- \* 4日・22日  
絵画あそび
- \* 25日(金)  
誕生日会
- \* 29日(火)  
ありがとうの会
- \* 26日(土) 新年度会議  
職員が新年度の準備や会議をする時間とさせていただきます。家庭保育のご協力をお願いします。  
お弁当日・17時までの保育となります

#### 4月の予定

- 4月1日(金)  
2022年度入園・進級式